

# 平成 30 年 12 月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成 30 年 12 月 26 日 (水) 9 時 00 分から 11 時 00 分まで
2. 会 場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎 3 階 臼杵庁舎 301 会議室
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己  
教育長職務代理者 垂井 美千代  
委 員 渡辺 義弘  
委 員 野上 美智子  
委 員 神田 岳委

## 4. 出席職員

- |             |       |             |        |
|-------------|-------|-------------|--------|
| 教育総務課長      | 甲斐 尊  |             |        |
| 社会教育課長      | 大戸 敏雄 | 文化・文化財課長    | 川野 徳明  |
| 学校給食課長      | 安東 信二 | 教育総務課総括課長代理 | 麻生 幸誠  |
| 学校教育課総括課長代理 | 口石 愛  | 社会教育課課長代理   | 那賀 啓史  |
| 文化・文化財課課長代理 | 神田 高士 |             |        |
| 教育総務課主査     | 米木 淳子 | 教育総務課主事     | 姫野 まりな |
5. 傍聴人 木村 公治

## 1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日、欠席者 0 名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第 3 条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

開会に先立ち、ここで、事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1 名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。傍聴に関しては、臼杵市教育委員会会議傍聴規則第 2 条の規定により、どなたでも教育長の許可を受ければ傍聴できることに

なっています。

傍聴は、教育長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するというようにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 許可)

それでは、傍聴を許可することにいたします。

(傍聴者 入場)

これより臼杵市教育委員会、平成30年12月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りといたします。次に、会議録署名委員に、渡辺委員と垂井委員の2名を指名致します。

今回の日程のうち、

- ①報告第22号 専決処分の承認を求めることについて  
(教職員(小・中学校)の内申について)
- ②第34号議案 臼杵市学校管理規則の一部改正について
- ③第35号議案 臼杵市奨学生選考委員会委員の委嘱又は任命について
- ④「5. 教育予算について」の「平成31年度 当初予算要求について」

以上4つを非公開としたいので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」に基づき、採決を行います。

(委員 挙手あり)

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

## 2. 教育長報告

(教育長)

それでは、次第に沿って、2の教育長報告をいたしたいと思います。

12月も今日を入れて6日になります。12月1日に、土曜ふれあい学校がありました。野津小がマラソンでしたが、驚いたのが小学校4年生の男の子が学校に来てなくてびっくりしたのだが、親の話を受け学校に行きたくなかったという事がありました。市浜小学校は小学校5年生が朗読会をしました。西中学校は弁論大会を見に行く予定でしたが言ったら終わって

いました。福良はふれあい広場、和気藹々と開催されていました。3日が定例校長会でした。4日目から定例議会が21日までで、開会されました。代表質問、一般質問がありましたので、検討会がありました。8日に、人権作品の表彰式が観光交流プラザでありました。毎年ポスターと標語が増えており、多くの応募がありました。その中で人権ポスター12、標語が一般6名、小中学校11名の表彰でした。それから9日は市P連の研修会が今年は野津の中央公民館でありました。食育の関係で野津の給食センターの赤波江栄養士、森栄養教諭が説明しました。その次の週が議会の代表質問・一般質問がありました。資料をご覧ください。教育委員会の関係が代表質問で、奥田委員が学校現場の働き方改革ということで教職員の負担軽減についてと出退勤システムの導入について、スクールサポートスタッフの拡充についてでした。出退勤システムについては来年度の当初予算に入っています。スクールサポートスタッフについても効果があるので国、県についても要望をしています。単独でというのは厳しいかなと思います。匹田久美子議員からの一般質問ですが、市役所職員と学校職員の長期病休時の体制について質問がありました。市職員は臨時での対応、教職員については県に代替の職員を要望しますが、うちは下北小学校の病休代替が決まっています。県下全体でも職員が少ない状況です。それから広田議員の方からは吉四六ランドのテングス病対策について。対策をしていると答えさせていただきました。給食畑の野菜について若林議員から質問をいただきました。基本的に顔が見える取組という風に説明させていただきました。川辺議員から小学校の統廃合について質問をいただきました。少ない学校を早く統合すべきじゃないかのご意見をいただきましたが、今の状況、学力含め、小さい学校のメリットを考案しながら検討していく必要があるし、再来年で、各学校の長寿命化計画策定を予定していますので、それも踏まえ検討していきたいと回答しました。戸匹議員からフードドライブについて、家庭などで余った食品を持ちより、寄付する活動を学校に広められないかと質問がありました。知られていないことが多いと思うので、啓発していきたいと回答しました。それから14日は川登小学校の健全育成会受賞報告がありました。地域学校協同活動文部科学大臣表彰を受賞しました。紙すきの取り組み、風連鍾乳洞ガイド、二孝女での表彰です。

17日に臨時校長会を開きました。交通事故についてです。スピードを出しすぎていたというわけではないが夜道の見通しが悪かった。そういった状況は誰にでもあることなので気をつける。12月初めから追突・接触事故など報告があり気になっていたが、その矢先の事故でした。年末年始しっかり先生たちに注意を促すようにお伝えしました。定例教頭会でも同じような事を言いました。死亡事故はなかったことなので、今後そういったことが無いように気を付けてもらいたいと思います。管理職試験について、校長試験、教頭試験共に1次試験の結果を持ち越さないで2次試験に向けて指導をよろしくということで。21日について、定例議会最終日でした。同日、小中学校の卒業式でした。本日定例教育委員会です。今日午後3時から読書感想文・エッセイコンクールの表彰式がありました。感想文が総数1916、学校選考182、感想画200、エッセイ6で集まりました。28日が仕事納め式、31日に臼杵石仏年越し法要がありましたので、それに参加します。報告を終わります。ご質問等ありました

らお願いします。

(垂井委員)

13日に、市内中学校弁論大会が南中学校でありました。臼杵南小の5、6年生が来て聞くということで、10名の代表が発表しましたが、もう少し何らかの形でPRして、市民の方々にきいていただけるのではないかというくらい内容が濃くて、お見えになっていた代表者のおじいちゃんおばあちゃんだとか、近くの人だとかが、「中学生はしっかりしているんだなあ」というような言葉もありました。最優秀になったのは、西中の3年生の女の子でした。5、6年生が体を乗り出して聞いていく、という5、6年生にとってもよかったなと思いました。優秀賞3名甲乙つけがたいものでした。次からは、宣伝をして聞いていただけると中学生がしっかりしていることが伝わると思いました。

### 3. 協議事項

(教育長)

これより「次第3. の協議事項」に入ります。

それでは、第20号議案「臼杵市における運動部活動の在り方に関する方針について」を説明します。

(社会教育課長)

臼杵市における運動部活動の在り方に関する方針を策定したので報告する。臼杵市教育委員会は、「国のガイドライン」及び「県の方針」に則り、本市の実情を踏まえて「市の方針」を策定しました。1 適切な運営のための体制整備、2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組、3 適切な休養日等の設定、4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境及び体制の整備 4部の構成です。方針については、県のガイドラインを踏まえたものですが、大きく異なるところをお伝えします。県については、県立学校も方針に含まれていますが、市についてはそこを削除しています。もう一つは、趣旨について、教職員の負担軽減を踏まえ、本方針を策定するという部分です。市としても、方針の一番の目的である教職員の負担軽減を念頭に置いての方針の策定です。具体的な部分については資料の7ページ目です。＜休養日及び活動時間の基準＞について、周知を図ろうというところです。現実的には、大会前にはこの基準以上の練習時間が運動部活動の現場ではあると思いますが、大会終了後に休暇を増やす等基準に合わせるものです。

スケジュールについて、年明けに市内中学校に方針を説明し、校長会でも説明申し上げたいと思います。これを受け、中学校は主な大会等を記した予定表を学校のホームページ等を通じ、公表することとなっています。公表を通じ、過大な労働環境にならないよう抑制することが目的の一つです。方針についての説明を終わります。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(渡辺委員)

大会等について、中体連主催の大会は全県下統一で同じですが、各種協会主催の大会が、種目によって個人的大会への参加だとか、協会主催の参加だとか、全て参加する傾向になってきています。それをどこまで抑制できるかはそれぞれの学校の状況によって違うし、それをどういう風にコントロールできるかが心配です。子どもたちにとってはチャンスで、色々な大会に出てみたい、中体連、協会、個人主催、大会に向けての練習が膨れていく。そういう中で、得意とする種目を担当する監督、そうでない顧問で考え方は違ってくるし、なかなか一律にはいかないと思います。

(社会教育課長)

種目、先生によってばらつきはあろうかと思えます。これまでも、抑制をやってきたがなかなかできなかった背景の中に、現場の先生からすると熱い思いの中で、多少大変な勤務になってもぜひ子どもたちのためにいい思い出に、という背景があったと聞きます。状況を踏まえると、なかなか対応できないというのがありますので、その辺について、資料10ページに書いていますが、必要に応じた運営に努めるとか、負担にならないように、と考えているところです。大会、シーズンの中で、全体でバランスを考えていくということをお願いしたいと考えています。

(垂井委員)

保護者や地域の中の思いの中に、熱心な先生で、というようにというものがあると思えます。1つ対策として、PTAの総会の後に、ほとんどの中学校が部活Pを持つと思えます。県も市も、教職員も時間外労働の軽減のために、こういう方針であるということの軽減、学校における効率的、効果的な練習を目指す一方、地域や保護者の方に、方針はこうであると周知を徹底し、ご協力いただかなければ難しいと思えます。

(渡辺委員)

新潟の高野連がピッチャーの投球回数を制限するそうです。投手が多くいるチームは十分ですが、この子だけしか、というチームにとっては大会で優勝することは不可能になります。それを打ち出すことで小さな学校は大会での優勝の目途が立たなくなるというのがあります。得意ではない顧問、専門とする顧問との考え方が違うので、現場では難しいので、方針は出さなければいけないが、現場の意見との話し合いがとても大事だと思います。

(神田委員)

熱心な先生の後はこの方針が出て、それを守った先生が保護者から前はあんなにしてくれてたのに、と。その狭間に立つのは先生なので、方針ではなく教育委員会として強い指示を出し、守ってもらったほうが教育委員会がこういうんだ、とエクスキューズになると思います。ぼやっとしていると先生たちの逃げ場がなくなるのかなと。どちらかに大きく振ったほうが良いと思います。

(教育長)

ありがとうございます。方針も、スポーツ庁が3月に出して、県も8月に出して、市も作ったわけですが、これからPRをしていきたい。指導者、先生、保護者とかあると思うので、教育委員会としてこうしていくという風にしないと、言われるように先生が保護者から言われたらというのがあるので、まず方針を作ったことを皆さんに知っていただいて、そこから始めていきたいと思います。

(渡辺委員)

県の方針が出た以上、各郡市ある程度足並みをそろえた市の方針を作ってほしいと思います。教諭時代、部活を担当していた時、大会がものすごく増えて、担当の顧問にとっては負担になっている場合も、喜んで参加する場合もあるし、その辺でも温度差があるので、臼杵市の先生が肩身の狭い思いをしないよう、全県下である程度の足並みをそろえないといけないと思います。

(教育長)

ご意見ありがとうございます。報告第20号については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

次に、報告第21号「専決処分の承認を求めることについて」(教育委員会事務局の人事発令について)を説明します。"

(教育総務課長)

平成30年12月1日付で教育委員会事務局の人事発令を行いました。職員は、甲斐 尊です。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(野上委員)

承認はしますが、第22号議案について、意見があります。

(教育長)

次ですね。報告第21号については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

次に、「報告第22号」に入る前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

#### 4. 学力向上について

(教育長)

続きまして、「4. 学力向上」に移ります。その前に、傍聴者の入場を許可します。

(傍聴者 入場)

それでは、「チーム臼杵プロジェクトの実践について」説明をします。

(教育総務課)

引続き学力向上についてチーム臼杵プロジェクトの実践について、特に今年度は点数の学力だけでなく子ども達の表現力がアップしている。大分県の人権作文など故郷をテーマとした最優秀賞やロボットコンテストの優勝、ICTを活用した教育情報カンファレンスでのプレゼンテーション、科学の甲子園ジュニア等、学びに向かった学校づくりがあらゆる場面で成果として表れている。教師の授業力向上については3つの教育重点校である西中を核とし、毎週金曜日にチーム臼杵プロジェクトの中で情報発信をしている所です。大分県の教育委員会のホームページで臼杵市の中学校の実践事例を多く掲載しています。国語科において、教科部会の充実により授業改善が進み、学力向上支援教諭の山村教諭の年3回の授業公開と研修などが行われ、教師の授業力がアップしている所です。西中の野路教諭の実践が、興味関心を喚起する古典の授業の勧めと題しまして、生徒が楽しいと感じる授業実践が県のホームページに掲載されています。

次のページをご覧ください。ここに国語科の単元プランが掲載されています。碩田学園の伊勢教諭に、小学校と中学校の違いを豊かさに変えてという演題で臼杵市の国語科と研究主任会を対象に講演をしました。西中の磯部教諭や、南中の中西教諭の単元プランが県のホームページで掲載されています。西中の戸高指導教諭の単元プランも合わせて掲載されて

います。以上で報告を終わります。

(教育長)

何れも詳細の方は県のホームページで掲載されています。平成28年は下の方の学力でしたが、先生たちの頑張りで色々なところで取り上げられるようになりました。

只今の説明に関して、何かご意見はありませんか。

(垂井委員)

教職員が、意欲的、積極的に深い研究に向かっている姿を感じる、見るにつけ、12月に授業提案があると、PTAの準備、テストの集計、校内での話し合い等を抱えて忙しい中なので、できれば12月を外してあげればと思います。

## 5. 教育予算等について

(教育長)

次に、「5. 教育予算について」に入る前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

## 6. その他

(教育長)

続きまして、「6. その他」に移りますが、その前に、傍聴者の入場を許可します。

(傍聴者 入場)

それでは、「臼杵市学校給食センター保全調査結果報告について」を学校給食課より説明します。

(学校給食課 説明)

臼杵市学校給食センターの評価というのを今年の8月の夏休みを中心に会社にお願ひしました。報告書を簡単にお知らせします。まず目的なのですが、建築設備は物理的劣化が避けられず、耐用年数は15年から20年と言われています。現状を専門家の調査で把握し、ハード面における今後の給食センターの在り方を検討する基礎資料として調査をいたしました。臼杵学校給食センターは、平成12年から始まり、今18年経過しています。建物の状態は良好です。給食センターができたときに売りだったが、給食の残菜を設備にいれたら肥料になって、その肥料を給食畑にまいていたのだが、その機械が壊れてしまっています。厨房設



備ですが、18年たっているため、更新時期が過ぎていたり、部品がなかったり、ということが非常に多いです。今後20年間、アドバイス通りに機械を更新していったら、10億2千600万円かかります。野津学校給食センターは昭和63年に始めっており、30年経過しています。屋根の外装、内装とも劣化が激しく、雨漏りの発生の可能性が大きいです。換気設備が耐用年数が経過してしまっているのと、当初から適切に施工されていません。厨房設備について、臼杵センター同様耐用年数が来たものを適宜更新することになっています。今後20年の必要経費は、1億5000万円かかり、この状況で野津センターが今後20年の持つという状況ではないので、調査結果をもとに給食センターの建物をどうするか検討していかなくてはならないと考えています。調査結果の報告でした。

(教育長)

説明が終わりました。意見等がありましたらお願いします。

(野上委員)

合計、11億5千万ですが新しいのは建たないのですか。

(学校給食課長)

佐伯市が、13億。

(教育長)

そういったことも検討しないと。子ども達の命・健康に関わることなので。臼杵のセンターも経ってしばらく経つので、もう少し早くこういった保全調査をし、将来的なことを考える必要があったと思いますが、これからどうしていくか考えていかなければならない。

(野上委員)

今は残菜はどうしていますか。

(学校給食課長)

ごみとして出すしかありません。

(渡辺委員)

津久見市で、自校給食の時に紙ごみと残菜を混ぜて肥料を作っていました。

(学校給食課長)

良い機械を探してはいますが、どうしても高額なので。

(教育長)

以上で、「6. その他」は終了しますが、委員の皆さま、「これまでのこと」や、「全体的なこと」でも構いませんが、何かご質問はありませんか。

(渡辺委員)

中3生教室とかの反省会をぜひやって、いい意見、使用者側から見た意見、親の意見を吸収し、活かしてもらいたい。

(垂井委員)

全体で反省会をし、小学校も一緒に。今度は小学校と中学校だけで反省会をして、その前に子どもも親もアンケートを取って、それを事務局が1冊の本にしてくれて、という風にします。

(渡辺委員)

先生の数が少ない中で、子供たちがそれに応えようとしているのか、親は無料で塾のように預かってくれてありがたい、という感覚なのか。

(野上委員)

公民館の掲示がとてもいいです。子どもの生き生きした作品をみんなが見れて。ありがとうございます。

(教育長)

励みになると思います。以上で、次第の6. が終わりましたので、これをもちまして、12月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

---

会議録署名委員

---

会議録作成者

---